

29年 2月 17日

豊明市議会議長 殿

行政等視察報告書

議員名 近藤 千鶴



28年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
平成 29年 1月 25日	長崎県長崎市	「地域おこし協力隊」について
26日	熊本県益城町	災害時における議員の役割・現地視察
27日	鹿児島県鹿児島市	子育て交流館 りぼんかん

豊明市議事課
29.2.17
分類・・・30・10・5・1
可・否・一部否・一時否
第 98号 受付

(注) 別紙添付も可能とします。
(注) 本報告書は5年間公開します。

1月25日

地域おこし協力隊について

・業務概要

活動地区内における次に掲げる行事に可能な限り参加し地域コミュニティとの交流を深める。

- 1 イベント等まちおこしに係る事業の企画、実施
- 2 自治会、老人会等が行う地域行事等のコミュニティ活動への支援
- 3 地元組織の活動の支援
- 4 活動地区内での活動の状況やイベント、観光施設などに係る情報発信
- 5 その他、活性化につながる活動

自身の持つ能力を活かしながら解決し、地域の活性化につながる活動を行う。

隊員の待遇・福利厚生等について

- ・身分 ——非常勤の特別職
- ・雇用期間 ——単年度(最長3年間更新可)
- ・勤務時間 ——週38時間45分程度
- ・保険・補償——健康、厚生年金、雇用
(介護保険)災害補償制度あり
- ・その他 ——活動に必要なパソコン
車両等は活動状況を鑑み予算の範囲内



まとめ

- ・地域おこし協力隊は、長崎市が平成17年及び18年に近隣7町と合併したが、合併地域の人口減少や高齢化が進み地域の担い手不足が問題になり、盛り上げるために都市に住んでいて地域活性に意欲のある人を募集することにしたそうです。
- ・1期目は応募者20名のうち5名委嘱、2期目は応募者32名のうち5名委嘱されています。
1期目の中の4名は、任期終了後も長崎市に定住され、地元の方と結婚した方、カフェの経営を始めた方もいるそうです。
- ・今後は、市全体として事業の継続の可否や、対象地域などを検討していくそうです。
- ・本市においては市民の中から豊明の情報発信、地元特産物の開発などをしていただけるように、もっと推進しその事により観光人口増、定住人口増につながることを期待したい。

1月26日

災害時における議員の役割&現地視察

・平成28年熊本地震による益城町の被害状況

・地震の概要—4月14日21時26分 マグニチュード6.5 震度7

4月16日 1時25分 マグニチュード7.3 震度7

その後震度4以上—4月98回 5月8回 6月5回 7月以降は月数回

・建物被害(1月11日現在)

全壊3503件 大規模半壊993件 半壊2703件 一部損壊4437件

・人的被害(1月28日現在)

死者30名 重傷者116名 軽傷者31名



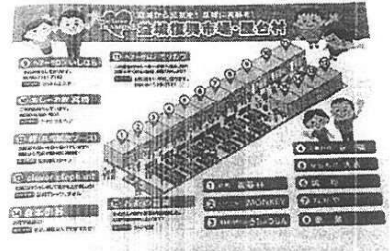
・益城町復興市場・屋台村

・事業目的—被災により店舗が倒壊した事業者、設備、機材などを失ってしまった事業者が多数おられ、その日の経済活動も出来ない状況。そこで、商工業者の経済活動を1日でも早く再開できる施設を整備することで、町の賑わいを取り戻すことを目的に、『益城復興市場・屋台村』としてオープンした。

・開催概要 2016年6月25日～2017年6月30日(予定)

10時～23時

(各店舗ごとに定休日あり)



まとめ

- ・復興でお忙しい中を議会事務局の方と議長さんが対応してくださいました。地震発生後の「0」のつく日に全員協議会を開催し、議員からは市民方からの要望を伝え行政からは先決事項や議員への依頼を伝えたそうです。
- ・地震後1カ月間は議長が災害本部に入り、議員は町内の地域に入ったそうです。行政への要望は議長へ連絡を入れ行政に繋げたそうです。
- ・県からの応援物資として仮設トイレが届けられたが職員不足の為、議員全員で設置に動いたそうです。議員と行政との連携が災害時には特に大事だと感じます。
- ・復興市場は3か所あり1日でも早く営業できるように大型テントにしたそうです。それは、仮設建物にすると手続き等に時間がかかり、福島県は9ヶ月かかったからだそうです。
- ・現在みなし仮設として3500人の方が町外に住んでいるので戻ってもらえるよう店舗開設し町の賑わいを取り戻したいとの思いを話してくださいました。
- ・本市も今後大きな災害が予測されています。災害を体験された方の生の声をいろいろ聞かせていただき災害に備えていた事はできないことが多いと痛感しました。情報の伝達方法はしっかり決めておくことの大切さもわかりました。

1月27日

鹿児島市すこやか子育て交流館の施設概要

・設置の目的

「ひろがる笑顔、支え合う子育て」をコンセプトに、子育てに関連する情報の発信や関係団体等との連携・情報の共有化を行い、地域の子育て支援機能のさらなる充実を図ります。

・施設の概要

名称	鹿児島市すこやか子育て交流館 愛称：りぼんかん
供用開始日	平成22年10月9日
建物の構造	本館 5階建て 別館 1階建て
駐車台数	113台

・休館日、開館時間

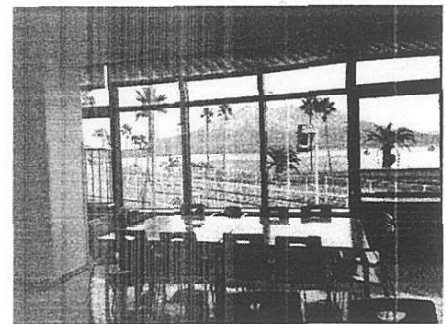
休館日	毎月第1月曜及び年末年始
開館時間	10:00～18:00

・施設の利用者

小学校3年生までの者及びその家族
妊娠中の者及びその者に同伴する者

・実施事業

講座、イベント、交流事業
相談事業
一時預かり
子育て支援ネットワーク



・利用状況

来館者数	平成27年度131,363人	一日平均	377人
相談件数	平成27年度2,421件		
一時預かり件数	平成27年度2,512人		

・組織体制

市職員4名 企画運営指導員5名、子育て支援員14名

まとめ

市内5ヶ所に子育て支援の施設があるが、市直営はりぼんかんのみでした。職員19名が有資格者をそろえていて相談室での相談だけでなく、遊具で遊べるスペースにいる時も声をかけられるようにしているそうです。

休館日が月1回のみというのは利用者の皆さんは利用しやすいと思う。開館時間は利用者のもう少し早く開館してほしいとの声により29年度より9時～17時に変更するそうです。

会館内を案内していただきましたが1つ1つのスペースが広く、天候に左右されず遊べる場がある事はとてもいいと思いました。

また、料理の部屋、持ち込みで飲食できるスペース、音楽に親しむ部屋、さらさら広場は安全で衛生的に砂遊びができる、1年中水遊びができるスペース、リフレッシュコーナーにはマッサージチェアが置いてある等、会館内がとても充実したスペースになっているのは開館にあたり各地を視察して考えられたとの事でした。

本市に1つでもこのような施設があったら市民の皆さんに喜ばれるだろうと思いました。今後、公共施設の統合など考えていく時、子育て交流館に改装していく事も考えられるのではと思いました。